

(1)事業の概要等

事業番号	B1300
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	八雲町児童交流事業					担当部	教育委員会事務局				
	事業期間	昭和63年度以前	～	令和7年度以降			担当課	教育総務課				
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本施策	13	展開方向		担当係	庶務係				
	予算区分	一般会計	款	10	項	1	目	3	大	10	中	1
	根拠法令・個別計画	教育振興基本計画					事業種別	一般事業				
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	八雲町児童との交流により、お互いのふるさとを学び、共に理解を深め、「心と心を結ぶ永遠の友情」を育みながら、小牧市の将来的展望に立った次代を担う大人への成長を促す。										
	対象 (何・誰を対象に)	市内小学校5・6年生										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>●令和4年度の実施内容 令和2～3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響から、八雲町と協議の上、事業を中止した。 このため、交流委員会を2回開催したほか、令和5年度の募集チラシを作成したのみである。</p> <p>●直接経費(令和4年度) 委託料 82千円(一般財源)</p> <p>●直接経費(令和5年度) 委託料 4,514千円(一般財源)</p> <p>●過去の主な変更点 H22年度まで 定員40名(男女 各20名)(八雲20名(男女 各10名)) H23年度～ 定員32名(男女 各16名)(八雲16名(男女 各8名)) H27年度～ 八雲町と協議のうえ、事業内容を見直した。 定員24名(八雲児童は16名のまま)に変更 民泊を集団宿泊に変更 H28年度～ 八雲町で事業内容を見直し、八雲町定員を12名に変更 H30年度～ 夏季派遣事業について、往路をフェリーから飛行機に変更</p>										
受益者負担	有	令和4年度は、交流事業中止のため受益者負担なし ・参加者負担金 参加児童一人当たり34,000円(予算) ・受益者負担総額 816,000円(34,000円×24人)(予算)										

(2)事業費

事業費	項目	単位等	R1	R2	R3	R4	R5		
			直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	1,857	2
			国・県支出金	千円	—	—	—	—	
			その他	千円	844	—	—	—	
			計(A)	千円	2,701	2	1	82	
			対前年比	%	—	0.0%	50.0%	8200.0%	
			予算額	千円	3,922	4,164	3,939	3,924	4,514
	人件費		正規職員	人	0.40	0.10	0.10	0.10	
			正規職員(平均賃金)	千円	2,994	749	749	749	
			その他職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
			その他職員(時給×時間)	千円	0	0	0	0	
			計(B)	千円	2,994	749	749	749	
	事業費合計(C=A+B)		千円	5,695	751	750	831		

(3)業績

展開方向における指標の推移			基本施策	13	展開方向			
指標名	単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5	
1								
2								
3								

指標	指標ほか		単位	R1	R2	R3	R4	R5	
	成果指標	事業を通してこどもが成長したと思う保護者の割合	%	目標	100	100	100	100	100
				実績	100	0	0	0	
				目標					
				実績					
	活動指標	参加児童数	人	目標	24	24	24	24	24
				実績	24	0	0	0	
	学習会開催数	回		目標	10	10	10	10	5
				実績	10	0	0	0	
	単 位 事 業 あ た り	受益者数(a)		人	24	0	0	0	
受益者あたり事業費(=C/a)		円	237,308	—	—	—			

(4)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの				
	事業の達成状況と課題	<p>令和4年度は、令和2～3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響から事業を中止した結果、成果指標及び活動指標ともに未達成である。 令和5年度から事業を再開するが、八雲町側の事情として、児童数の減少のために参加児童が集まりにくいなどの課題がある。今後も両市町の末永い交流を続けるために、事業内容について、八雲町と協議・検討していく必要がある。</p>					
	今後の実施内容	<p>八雲町児童との学習交流は、昭和58年から長く続いている事業であり、これまでも、参加児童の定員数の変更、民泊から集団宿泊への変更、フェリーから飛行機への変更など、必要な見直しを重ねてきた。 令和5年度においては、八雲町交流団が小牧市を訪問する日程の都合などにより、冬季の交流では、小牧市児童の参加が初日の歓迎会のみとなることや、参加する児童や教職員の負担軽減のため、学習会開催数の縮小を図った。 今後も、現在の参加児童数を維持していく中で、八雲町と協議の上、必要な見直しを行っていく。</p>					
事務事業評価による額	千円		節	細節		細々節	